

第Ⅳ章 史跡及び名勝の現状と課題

1 保存(保存管理)

(1) 指定地全体

長谷川氏旧宅の庭園は、現在の姿となった昭和前期以降、大幅な改変は行われておらず、所有者であった長谷川家による継続した維持管理がなされていた。公有化後は、松阪市が日常観察に加え、清掃、通風、除草及び樹木剪定等の維持管理を実施している。

平成24・25年度に実施した調査によって、樹根や排水不良を原因とする建造物の一部腐朽や不同沈下・傾斜等が確認されており、また、平成27年度に実施した調査により樹根による園路の不陸、園池護岸石積みの傾斜・陥没等の不具合、実生木の繁茂などの課題が把握されている。

(2) 整備(公有化後の修理工事)

重要文化財建造物の雨漏りや床の沈み込み等、保存に悪影響を及ぼしている箇所の応急修理を実施した。これに併せて庭園構成物の傾斜や沈み込み等、安全確保のための応急修理を実施した。すべて市単費により、修理後は対象箇所の劣化防止と活用の措置が図られた。

平成26年度 大正座敷応急修理工事

(表庭：雨水排水整備等)／平成27年1月9日付 14松教文第1593号1許可

平成27年度 離れ応急修理工事

(離れの庭：雨水排水整備)

／平成27年9月30日付 三重県教委指令第12-342号許可

平成28年度 離れ(座敷棟・茶室棟)・四阿応急修理工事

(殿町側庭園：燈籠傾斜、延段不陸修理等)

／平成28年10月25日付 三重県教委指令第12-394号許可

(3) 地区区分別構成要素の現状における課題 (第5～18図及び巻末資料[第1・2表]参照)

ア 魚町側敷地

a 表庭(前庭) (第5図参照)

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	園路、砂利敷、土間	地表面に雨水が集中し易く、表土が流出し飛石の根入れが浅くなっているところがある。また、これとは逆に表土が堆積し、飛石・敷石に覆い被っているところがある。
石組	景石、飛石、沓脱石、縁石、延段	通路石組、通路縁石、沓脱石、軒内や玄関の土間等は、各所で樹木の根上りにより不陸を起こしている。
水系	雨水排水路、井戸	表土の流出や堆積により、地表面の雨水排水勾配に不具合を生じているところがある。
植栽	中高木類、低木類、地被類	相当な樹齢を重ねたアカマツ3本の健康状態についての不安と、根上りによる石組や構造物・建造物の不陸などが生じている。
構造物	石燈籠等石造品、蹲踞、井戸、袖垣	蹲踞1基が表土流出等により不安定な状態にある。燈籠1基に石材の部分破損が生じている。
建造物	主屋、大正座敷、袴附、表塀	袴附の外部仕上各所の破損や建具に欠損が生じ、庭園景觀に影響を及ぼしている。
その他	空調室外機、新設排水施設	景觀を損ねている。



地形及び地割 雨水の集中



石組 縁石の不陸

b 大正座敷の庭（第6図参照）

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	園路、土間	表土の流出により飛石・敷石に不陸を生じているところがある。
石組	景石、飛石、沓脱石、延段	飛石の一部がアカマツの樹根と干渉し、不陸を起こしている。
水系	雨水排水路、井戸	表土の流出や堆積により、地表面の雨水排水勾配に不具合を生じているところがある。
植栽	中高木類、低木類、地被類	<ul style="list-style-type: none"> ・アカマツの樹根が飛石の一部に不陸を起こしている。 ・強風時にモミジの枝葉が建造物軒先に触れることがある。 ・西藏前のヒノキ3本が10mを超える高木に生長している。 ・生長した庭園樹木が飛石を覆い、動線を遮っている。
構造物	石燈籠等石造品、蹲踞、井戸、袖垣	燈籠1基に石材の部分破損・風化が生じている。
建造物	主屋、大正座敷、庭塀	庭塀の網代張に破損が生じ、庭園景觀に影響を及ぼしている
その他	四ツ目垣	



石組 アカマツ樹根による不陸



その他 擬木による四ツ目垣

c 坪庭 (第7図参照)

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	園路	表土の流出により地表面に雨水が溜まる場所がある。
石組	景石、飛石、沓脱石	周囲を複雑な屋根形状の建物で囲われ、狭い空間内の局所に雨水が集中し易い。
水系	雨水排水路	
植栽	中高木類、低木類、地被類	生長した庭園樹木が飛び石を覆い、動線を遮っている。
構造物	石燈籠等石造品、蹲踞、板塀	
建造物	主屋	
その他	空調室外機	景観を損ねている。



地形及び地割 雨水の滞留



雨水の集中しやすい屋根形状



植栽 生長した庭園樹木



その他 空調室外機

d 主屋・物置・蔵前外構（第8図参照）

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	土間、地盤	軒内、土間はコンクリートと三和土が混在する。 この周囲は表土露出部と砂利敷が混在する。
石組	景石、飛石、玄関石、 背割下水石垣、排水溝 縁石	蔵前中庭に数個の飛石を配するが、配置の根拠や 連続性が不明である。
水系	雨水排水路、井戸	・主屋・大正座敷より西側の雨水を背割下水へ導 く幾筋かの排水溝が巡っている。U字側溝、コ ンクリート側溝、煉瓦積側溝に鋼製蓋、鉄板蓋、 桤にはコンクリート蓋などの各種仕様が見られ る。大正座敷北側側溝の鉄板蓋は腐蝕が著しい。 ・円形の井戸が2ヶ所いずれもコンクリート製井 筒に鉄板蓋、浄化槽の上部はコンクリートで覆 われて地盤より突出し、铸铁蓋を置くなど、現 代の材料が用いられている。
植栽		
構造物	板塀	
建造物	主屋、大正座敷、米蔵、 大蔵、新蔵、西蔵、物 置、中門及び中塀、庭 塀	大正座敷北側の北塀は、大正座敷の庭から庭塀越 しに見える範囲は杉皮張としているが、その他は 波鉄板張で現代の材料が用いられている
その他	北塀、物入、手洗、浄 化槽、洗い場	景観上修景の検討が必要である。



水系 浄化槽、井戸2ヶ所



建造物 大正座敷北側塀

e 主屋南庭 (第9図参照)

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	園路	
石組	景石、飛石	
水系	雨水排水路、井戸	主屋南側の雨水を魚町通りの道路側溝へ導く排水溝が巡っているが、溝断面が小さく排水機能は十分ではない。これが、主屋新座敷の土台腐朽と建物不陸の主原因となっている。
植栽	中高木類、低木類、地被類	
構造物	石燈籠等石造品、蹲踞、井戸	
建造物	主屋、表蔵、表塀	
その他	アルミ塀、南波鉄板塀、鉄角柱	表塀南端と表蔵の間を扉付のアルミ塀としている。現代の材料が用いられている。景観上修景の検討が必要である。



水系 雨水排水路



その他 アルミ塀、扉

f 物置・米蔵南外構（第10図参照）

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	土間、地盤	
石組	縁石遺構、背割下水石垣	
水系		
植栽	低木類	
構造物		
建造物	物置、米蔵	
その他	西波鉄板塀、南波鉄板塀	南・西側隣地境界には、鉄骨造の南波鉄板塀と西波鉄板塀がある。西波鉄板塀には引分の扉が付いている。いずれも現代の材料が用いられている。修景の検討が必要である。



その他 南波鉄板塀



その他 西波鉄板塀、扉

イ 殿町側敷地

g 離れ・四阿南外構（第11図参照）

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	園路、階段、土間、地盤	魚町側の中門と離れの間の土間はコンクリートである。
石組	飛石、敷石、背割下水石垣	<ul style="list-style-type: none"> ・離れ南側の敷石は、樹木の根や雨水等による土の流出が影響し、不陸を起こしている。この南側に飛石を配するが、連続性が途切れている。 ・離れ南側の敷石の東西中間部にあるマキノキを迂回する石組が沈下し埋没している。
水系		
植栽	中高木類、低木類	
構造物	背割下水石橋	
建造物	離れ、四阿、中門及び中塀	
その他	背割下水コンクリート橋、南敷地境界仮設塀・ゲート	背割下水上にコンクリート橋を架けている。



地形及び地割 コンクリート製土間



石組 敷石の沈下

h 離れ北外構（第12図参照）

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	地盤	背割下水に向けて緩やかな下り勾配で、大雨時には通路部分が小さな川のような状態になる。
石組	飛石、背割下水石垣	通路中央に数個の飛石を配するが、その先の連続性が途切れている。
水系	園池導水口	背割下水から園池への導水口、導水管(埋設)が残されているが、全容は把握されず機能不全状態にある。
植栽	中高木類、低木類	
構造物	背割下水石橋	
建造物	離れ、中門及び中塀	
その他	花壇縁石、花壇、菖蒲園、石置場、北コンクリートブロック塀1	<ul style="list-style-type: none"> ・東端には近年に整備された花壇がある。 ・離れ塀近くの一角に不用石材が集積され、花壇縁石には延石等の転用が見られるが、遺構との関係性は不明である。 ・北側隣地境界に北コンクリートブロック塀が建つ。



石組 飛石 その他 花壇

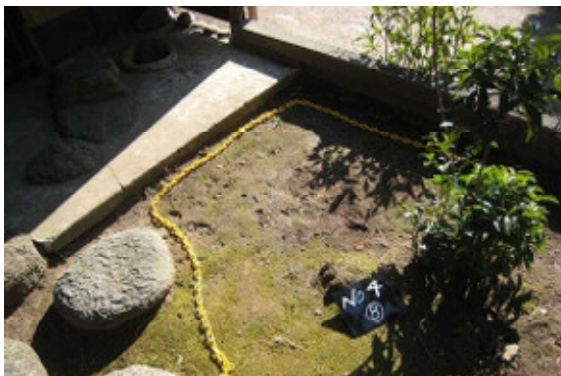


古写真 解体された離れ北側建物

(中門付近より北西を撮影)

i 離れの庭（第13図参照）

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	園路	<ul style="list-style-type: none"> ・表土の流出と堆積により、地盤面が周辺より低く、雨水が溜まりやすいところがある。 ・四阿の雨落ち溝と軒先位置に平面的不整合があり、経年により高さの不整合も生じている。
石組	景石、飛石、沓脱石	飛石の一部が樹木の根上りにより不陸を起こしている。
水系	雨水排水路、流れ	表土の流出や堆積により、地表面の雨水排水勾配に不具合を生じているところがある。
植栽	中高木類、低木類、地被類	<ul style="list-style-type: none"> ・アカマツの根上りにより、飛石の一部に不陸が生じている。 ・生長した庭園樹木により池庭への眺望を遮る。動線を阻害する等の不具合が生じている。
構造物	石燈籠等石造品、蹲踞、井戸、袖垣	地盤に枝折戸のものと見られる痕跡があるが、枝折戸は欠失している。
建造物	離れ、四阿	軒内三和土が各所で風化・劣化し、庭園景觀に影響を及ぼしている。
その他	新設排水施設	



地形及び地割 表土の流出



構造物 枝折戸痕跡

j 池庭 (第14図参照)

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	園路、中島	築山東斜面から園池廻りの雨水のほとんどは、土砂とともに園池に流れ込み、護岸の土の流出と落込みがある。
石組	景石、飛石、沢飛石、護岸石組	園池に流れ込む雨水により、表土が流出している。
水系	園池、園池給排水	かつての給水機能が不全状態にある。土砂や落葉で池底に堆積土が積もっている。
植栽	中高木類、低木類、地被類	護岸から池面上に張り出した枝葉があり、水面に直接葉が落ちるものがある。
構造物	石燈籠・石橋・釣瓶等石造品、蹲踞、井戸、月見台基礎石	<ul style="list-style-type: none"> ・燈籠2基に破損、ひび割れ、傾斜等が生じている。 ・中島の釣瓶は傾斜し、石橋は親柱や高欄の一部が破損し、目地別れが生じている。 ・月見台の基壇が一部地中に埋まった状態で遺されている。基壇の石積は緩みが生じている。
建造物	四阿	倒壊防止のため、木製支柱による応急修理がなされているが、根本的な修理が必要である。
その他	南コンクリートブロック塀	西・南側隣地境界にコンクリートブロック塀が建つ。現代の材料で、庭園景観に影響を及ぼしている。



構造物 月見台の基壇



建造物 四阿の応急修理

k 池北庭 (第15図参照)

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	表土	
石組	景石	
水系	雨水排水勾配	
植栽	中高木類、低木類、地被類	
構造物	石燈籠等石造品、蹲踞	
建造物		
その他	外灯、北コンクリートブロック塀2、竹柵	<ul style="list-style-type: none"> ・北側境界近くに外灯が1基ある。現代のもので庭園景観に影響を及ぼしている。 ・北側隣地境界にコンクリートブロック塀が建つ。現代の材料で、庭園景観に影響を及ぼしている。 ・東側隣地境界には竹柵があるが、史跡等の囲さくとしては機能不十分である。



その他 竹柵



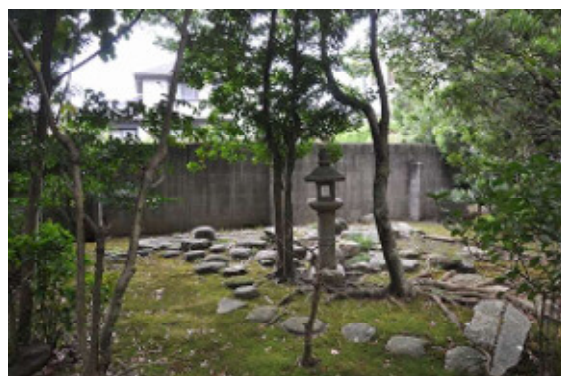
その他 外灯

Ⅰ 今日庵跡（第16図参照）

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	地盤、軒内土間	かつての今日庵が所在した敷地が分断されている。
石組	景石、飛石、沓脱石	飛石の一部に根上りによる不陸を生じている
水系	雨水排水勾配	
植栽	中高木類、低木類、地被類	ウバメガシの高木の根上りで、飛石の一部に不陸を生じている。
構造物	石燈籠、蹲踞	
建造物		
その他	北コンクリートブロック塀2	北側隣地境界にコンクリートブロック塀が建つ。現代の材料で、庭園景觀に影響を及ぼしている。



石組 根上りによる不陸



その他 北コンクリート塀

m 稲荷社外構（第17図参照）

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	参道、軒内土間	
石組	基壇石積	敷石の一部に根上りによる不陸を生じている。
水系	手水、雨水排水勾配	
植栽	中高木類、低木類、地被類	
構造物	石燈籠、蹲踞、手水鉢	燈籠1基に破損が生じている。
建造物	稲荷社(鳥居3基含む)、手水舎	稲荷社の基壇・土間三和土が劣化・風化し、景観に影響を及ぼしている。
その他		



石組 敷石の不陸



建造物 稲荷社の土間三和土の劣化・風化

n 築山 (第18図参照)

	構成要素	保存管理上の現状・課題
地形及び地割	築山斜面、築山開削面	築山と敷地境界のコンクリートブロック塀の間は、人が一人歩けるほどの隙間がある。西側の築山法面は石積であるが、北側は敷地分割の際の築山開削面が急傾斜で露出している。
石組	景石	<ul style="list-style-type: none"> ・築山の中に燈籠の破損材とみられる石材が残置されている。 ・築山北東端の山裾に不用石材が集積されている。
水系		
植栽	中高木類、低木類、地被類	・常緑樹の高木が茂り、上部枝の一部は西側市道に突き出ている。
構造物	石垣	
建造物		
その他	築山石垣、不要石置場、西コンクリートブロック塀	



地形及び地割 西側築山石積



植栽 西側市道へ突き出る常緑樹高木

2 活用

現在は毎週土曜日・日曜日・祝日の公開と、毎週月曜日・金曜日の事前申込制による団体見学の受入れを実施している。公開は予め設定した順路に沿って見学者が敷地内を移動する方式をとっている。また、11月には長谷川家の伝統行事である稲荷大祭の再現や、地域の伝統行事である山の神行事に対する場の提供を行っている。

課題として不特定多数の見学者の用に足る便所、案内板、サイン等の便益施設が未整備であることが挙げられる。一方、安全性の確保については、見学者の出入りが多い場合は通り庭に人が滞留し、通行の妨げになることや、建物の大規模修理・補強等が未実施であることから危険性について明示する必要がある等の課題がある。

3 運営・体制

現在、職員及び非常勤職員により、週3回以上の清掃・整頓等の維持管理を行っている。また、適宜点検を行うとともに、必要な処置を行っている。なお、建造物の大規模修理の進捗にあわせて、改めて運営・体制の検討が必要となる。

ア 管理組織 松阪市

イ 担当部局 松阪市産業文化部文化課

ウ 電話番号 0598-53-4393

エ 管理上の連絡体制

(連絡)



(指導・助言)

区 分	名 称	管 理 内 容
所有者	松阪市	保護に係る予算措置、方針・計画の策定 法に規定する手続(申請・届出) 保護に必要な修理・整備の実施 日常管理業務 ・普及公開、原状回復、監守に係る業務 ・施設及び設備の維持管理、それに係る小規模修繕(機械警備、樹木等管理、各種設備保守点検等は外部業者へ委託)